

チャプター1

白昼夢の果てに差す朝

第1章～第9章 日本語訳まとめ

収録エピソード

エピソード1 始まる朝

エピソード2 淡い光の朝

エピソード3 霧のかかった朝

エピソード4 遠ざかる朝

エピソード5 影の差す朝

エピソード6 崩れゆく朝

エピソード7 躍動する朝

エピソード8 闇を払いのける朝

エピソード9 目を覚ます時間

EPISODE
1

始まる朝

リニューアが上映準備中

シオンの部屋

(バンッ)

シオン・ザ・ダークブレット

ただいま、イード！

イード

お姉ちゃん？今日は早かったんだね？

シオン・ザ・ダークブレット

うん。コンビニが午後から備品の入れ替えで閉まるっていうから、早めに上がったんだ！
せっかく早く帰れたし、お姉ちゃんと一緒にモナティウムへお出かけしない？
最近、二人でゆっくり外に出たことなかったでしょ。

イード

お出かけ？いいよ、一緒に行こう。

シオン・ザ・ダークブレット

えへへっ、じゃあすぐ出発しよ！
イードと一緒に出かけなんて、すごく久しぶりだね！前からずっと楽しみにしてたんだ！

イード

うん。私もお姉ちゃんとお出かけしたかった。

(キィ、キィ……)

イード

う、うん？

シオン・ザ・ダークブレット

イード、何してるの？ 来ないの？

イード

ど、どうして動かないんだろう？

シオン・ザ・ダークブレット

え？ 動かないって？

イード

うん。さっきまでちゃんと動いてたのに……

シオン・ザ・ダークブレット

うーん、ナタモデルが古いからかな？
それとも……イード、前よりちょっと太ったんじゃない？

イード

なんだって？！

シオン・ザ・ダークブレット

あ、ごめん！ お姉ちゃん、妹のプライバシーに踏み込んだね。答えなくていいよ。
答えは……動けずに座り込んでるそのナタモデルが、代わりに教えてくれるから。

イード

何言ってるの！ 太ったからじゃないってば？！

シオン・ザ・ダークブレット

うん、うん。否定したい気持ちはよく分かるよ。
あははっ、イードったら～！ 恥ずかしがっちゃって。もう、本当にかわいいんだから！

イード

うう……！ もうっ！！
ねえ、ナタモデル！ 前に進んでくれる？

ナタ

拒否します！
使用者の健康状態を確認した結果、これ以上、生命維持装置による補助は不要と判断しました。
現在、使用者に推奨されるのは、歩行運動をはじめとしたリハビリ治療です。
生命維持装置から降り、最寄りの病院を訪問して専門医と相談してください！ 現在地点から最も近い病院の位置は……

イード

う、うん？ 拒否？
ちょ、ちょっと待って！ 降りろって？ 私はまだ……

ナタ

現時刻をもって、LLEL-Sモデル、ナタの作動を停止します。

イード

だ、だめ！！

ナタ

使用者の快癒を願っています。

(ジイーン)

イード

あ……

シオン・ザ・ダークブレット

な、何？ 機械が止まったの？

イード

うん……みたい。
生命維持装置の補助はもう必要ないから、運動とか……リハビリ治療を受けろって。

シオン・ザ・ダークブレット

ふーん……リハビリ治療か。
イード、私もそれがいいと思う。

イード

お姉ちゃん……？

シオン・ザ・ダークブレット

いつまでも機械に乗ったまま過ごすわけにはいかないし。
コンビニとか他の場所に入る時も、いつも広い倉庫の扉から入ってたでしょ。そのたびに不便じゃなかった？
ドア枠に挟まって、私が助け出すまで待ってたこともあったし。

イード

そ、それはそうだけど……

シオン・ザ・ダークブレット

だから、イード！ リハビリ治療を受けよう！ お姉ちゃんが手伝うから！
それに私……いつかイードと並んで歩けたらいいなって、ずっと思ってたんだ。
まだ歩くのは難しいでしょ？ 病院まで連れて行ってあげるから、一緒に行こう！
あ、ナタモデルも一緒に持っていった方がいいかな？ 念のために。

イード

いいよ。あとで私一人で行くから。せっかく早く帰れた日なのに、疲れ……

(よいしょ！)

イード

う、うわっ！

シオン・ザ・ダークブレット

う、うちの妹、すっごく軽いね！ ご飯抜いたりしてないよね？

イード

押さないで！ 自分で歩くから！

シオン・ザ・ダークブレット

だめ！ まだまともに歩けないくせに。
この前も一人で歩いてみるって言って、二秒に一回転んでたの、覚えてない？

イード

それはお姉ちゃんが横で応援とか言いながら、変なことばかり言ってたからだよ！

シオン・ザ・ダークブレット

変だなんて！ 深淵の上を歩み始めた妹へ捧げる、我がアビスウォーカー・マーチング――

イード

今も！ 今もそれやってるでしょ！
……はあ。本当に重くない？ 疲れてない？

シオン・ザ・ダークブレット

ふ、ふふっ！ お姉ちゃんを見くびりすぎじゃない？ この私が背負ってきた煉獄色の人生の重さに比べれば、イードなんて羽みたいに軽いんだよ。

イード

さっきは太ったんじゃないかって言ってたくせに。

シオン・ザ・ダークブレット

さっきは本当にそうなのかと思ったんだって！ 急にあんなふうに、ぺたんって座り込んでしまうから！！
最近、宴会場に行って食べすぎることも多かったし……

イード

ああもう！ 太ったからじゃないってば！

シオン・ザ・ダークブレット

あははっ！ うん、分かったって！

イード

まったく……

シオン・ザ・ダークブレット

……………
イード、心配しないで。

イード

う、うん？ 何を？

シオン・ザ・ダークブレット

リハビリ治療が必要だから、乗せるのを拒否しただけでしょ。
故障したわけじゃないんだから……大丈夫だよ。

イード

……うん。ありがとう。

ヒルデの診療室

ヒルデ

では、もう一度歩いてみてもらえますか？

イード

はい、ううっ……

(ふら、ふら……)

(ドタバタン!!)

シオン・ザ・ダークブレット

イード！大丈夫？！

イード

う、うん。大丈夫。

ヒルデ

ふむ。

足を踏み外して一回、左足に右足が引っかかって一回、片足だけで三歩進もうとして一回……

たしかに、生まれたてのヌルリンのような歩き方ですね。

シオン・ザ・ダークブレット

か、かなり深刻なの？

ヒルデ

いいえ、検査上は特に問題は見つかりませんでした。

歩けないのは、心理的な原因が大きいように見えます。横になって過ごしていた時間が長かったですから。

ひとまず入院して、しばらく病院で心理カウンセリングとリハビリ治療を受けながら経過を見ましょう。

地道に歩行運動を続けていけば、自然と歩けるようになるはずですよ。

シオン・ザ・ダークブレット

よかったね、イード！

イード

どれくらいかかるんでしょうか？ちゃんと歩けるようになるまで……

ヒルデ

はっきりとは言えません。リハビリ治療の経過は、イードさん次第ですから。

イード

あの、少し不安なので……ひとまずまたナタモデルに乗ります。

ヒルデ

ふむ……
まずは、そのナタモデルから降りることが先ですね。
ナタモデルは病院で保管しておきますから、しばらくは機械なしで過ごす生活に慣れていくのがよさそうです。

イード

うう、でも……私、まだ独り立ちするには早い気がするんだけど～。

ヒルデ

イードさん、否定的にばかり考える必要はありませんよ。治療は、治ると信じる気持ちから始まるものですから。もう少し、自分の状態を客観的に見つめる必要がありますね。

イード

はい……

シオン・ザ・ダークブレット

どれだけ時間がかかっても大丈夫！ このお姉ちゃんがそばにいてあげるから！

イード

ありがとう。でも、だからって無理はしないで。アルバイトでただでさえ忙しいんだから。

シオン・ザ・ダークブレット

あ、アルバイトなら代わりを探せば……

イード

ただのリハビリ治療だよ。あまり心配しないで、お姉ちゃんはお姉ちゃんの普段どおりに過ごして。今連載してるダークネット小説の締め切りも遅れてるでしょ。

シオン・ザ・ダークブレット

な、なにっ?! イード、どうしてそれを?!
はっ! まさか、イードもついにお姉ちゃんと同じ深淵の世界へ足を……!

イード

ち、違うよ! 教主様がダークネットで活動してるカウンセラーさんを一人紹介してくれたことがあって、少し! 少しだけ入ってるだけ!

シオン・ザ・ダークブレット

カウンセリング? そういうことは、お姉ちゃんに真っ先に言うべきでしょ!

イード

あ〜もういいから! 私、また診察を受けないといけないから、お姉ちゃんはもう帰って。落ち着かないよ!

(バンツ)

シオン・ザ・ダークブレット

ふう、イードのやつ。最近、妙にピリピリしてるんだよね。
治療、うまくいくといいんだけど……
あっ! お姉ちゃんたちと妹たちにも知らせよう。姉妹たちならきっと、イードの治療を手伝えるはず。
あ、ダークネットにも書き込んでみようかな?
『歩きの達人いる? 上手な歩き方を教えてくれたら謝礼出します!』
まあ、こんな感じで投稿しておけば、一つや二つくらいはいいコメントがつくだろうし。
ふう! 心配しないで、イード。お姉ちゃんが必ず、あなたを歩けるようにしてあげるから!

翌日。

シオン・ザ・ダークブレット

うーん……歩行補助器、イードにちゃんと合うかな?

ヒルデ

測定した身体データをもとに制作したものですから、大丈夫でしょう。

エピカ

きっとぴったり合うはずでござる！
昨日連絡を受けるやいなや集まり、我ら姉妹の力を一つに合わせて作り上げた傑作ではないか！

シオン・ザ・ダークブレット

あなたは横で見てただけでしょ。

エピカ

み、見ていただけとは！小生の心をたっぷり込めた応援歌が聞こえなかったのでござるか？！

ウイ

未っ子の小さいお姉ちゃんのお友だちが幸せになってほしいっていう、その気持ち、ウイにはちゃんと聞こえたよ！

アヤ

力を一つに合わせたとは言うけれど、私たちもエピカと大して変わらないわ。イードがうまく歩けるよう願いを込めただけ。
この熱くて粘っこい想いが、イードに確かに届くようにね。

シオン・ザ・ダークブレット

うう、お姉ちゃん！その表現、どうにかしてってば！

アヤ

え？表現？

シオン・ザ・ダークブレット

はあ……いや、もういい。
とにかく、これだけの関心と愛情があれば、イードもきっとすぐ歩けるようになるはず！

(ざっ、ざっ……)

シオン・ザ・ダークブレット

イ、イード！！

エピカ

おお……見よ！ 本当によく似合っているではないか！

シオン・ザ・ダークブレット

あなたが自分の足で歩く姿を見られるなんて……！ お姉ちゃんは、このお姉ちゃんは～！！

イード（リハビリ）

……大きさに騒ぎすぎじゃない？

（つまずき）

イード（リハビリ）

う、うわっ！

シオン・ザ・ダークブレット

イード！ 大丈夫？！

イード（リハビリ）

う、うん。
う、うん。まだ慣れてないだけ。支えてくれてありがとう。

シオン・ザ・ダークブレット

いつでも頼って！ あなたがちゃんと歩けるようになるまで、お姉ちゃんが支えてあげるから！

エピカ

その役目は小生たちにも分けてほしいでござる！ シオンお姉ちゃんは普段から忙しいではないか？

アヤ

そうね。私たちが交代で、イードのリハビリ治療を手伝いましょう。

ウイ

ちゃんと歩けるようになったら、きっと幸せになれるよね？ ウイも応援するよ！

イード (リハビリ)

みんな……

うん、ありがとう。私も頑張ってみる。

——次のお話——

EPISODE
2

淡い光の朝

モナティウム病院 病室

数日後。

イードは一連の心理カウンセリングとともに治療を受け始めたが、これといった進展は見られず……
病院生活の中、姉妹たちとリハビリ訓練を繰り返す日々が続いていた。

アヤ

さあ、イード。しっかり支えられるように、私の身体をもっと激しく抱きしめなさい。
最初は誰だって難しいものよ。私に身体を預けて、ゆっくり……

イード (リハビリ)

お、お姉ちゃん。ちょっと集中できないから、少しだけ黙っててもらえる？
う、うわあっ！

(どさっ)

エピカ

その時でござった！沈黙を貫いていた新芽が、ついに己の莖を世の中へと伸ばし始めたのでござる！
その動きはごく小さなものではあったが、世のあらゆる荒波に耐え抜かんとするかのよう、実に力強く……！

イード (リハビリ)

今話してるそれ……私のこと？

エピカ

そうござる、そうござる！力強く一歩を踏み出すその姿を、物語に込めて応援しているのでござる！

イード (リハビリ)

……そう……。

エピカ

では、続きを語るでござる！ 伸びゆく茎は細くとも、その根は揺るぎなく……

ウイ

どう？ エルが後ろから押してくれるから、うまく歩けるでしょ？

イード (リハビリ)

うん。寄りかけられるところがあるから、大丈夫みたい。

ウイ

えへへ、よかった！ ちゃんと歩けるようになるまで、ウイとエルがずっと押してあげるね！

(つるっ)

イード (リハビリ)

う、うわあっ？！

ウイ

大丈夫？！ ごめんね、エルの肌がすべすべしてるの忘れてた……！
末っ子の小さいお姉ちゃんのお友だちが、ちゃんと歩けるようになってほしいな。そうしたらウイも、末っ子の小さいお姉ちゃんのお友だちも、幸せになれる気がするのに……

イード (リハビリ)

ウ、ウイ！ 私は大丈夫。ただ滑っただけだから。も、もう一回やってみる。

ウイ

えへへ、うん！ ウイも後ろから一生懸命押してあげるね！

イード (リハビリ)

うん……。
※音声：ううん……

(もぞもぞ……)

ウイ

わあ！エルが好きなイモムシのお友だちみたい！

エピカ

……………

イード (リハビリ)

お姉ちゃんたち……私、どうしても歩かなきゃだめなのかな？

(もぞもぞ……)

イード (リハビリ)

こうやって移動する方が楽な気がするんだけど……。

アヤ

今さら何を言ってるの。一緒に練習した時はうまくできていたでしょう？

イード (リハビリ)

どこが……。

エピカ

そうござる、そうござる！ほんのわずかであっても、確かに良くなっているのが見えたでござる！

イード (リハビリ)

そうかな？私にはよく分からないけど……

エピカ

皆、今日は本当にお疲れでござった！イード殿も、今日一日よく頑張ったでござる！
この調子でいけば、きっとちゃんと歩けるようになるでござる！
では、小生たちはこれで失礼するでござる！

ウイ

また今度ね！ その時は、もっと幸せになってるといいな！

イード (リハビリ)

うん……またね。今日もありがとう。

アヤ

ねえ、イード。

イード (リハビリ)

うん？

アヤ

歩く練習がなかなか上達しないのは残念だけれど、あまり自分を責める必要はないわ。
今のイードは、もう一度学び直している段階なんだから。

イード (リハビリ)

……うん。ありがとう、お姉ちゃん。

アヤ

ふふ、お礼なんて。姉として当然のことはしているだけよ。
また来るわ。無理せず待っていて。私たちはいつでも、あなたを助けるから。

イード (リハビリ)

……………
お姉ちゃん、お姉ちゃんには行かないの？

シオン・ザ・ダークブレット

ちょっと待って！ また何かよさそうなコメントがついたんだ。
『視線は足元より少し遠くに置き、上体を起こしたまま、ゆっくり歩幅を合わせれば転倒する確率が22%以上減少する。』

イード (リハビリ)

ダークネットのコメント読むの、もうやめてってば。ほとんどいたずら書きだったでしょ。

シオン・ザ・ダークブレット

違うよ！私も最初は半信半疑だったけど、意外と役に立つコメントがすごくたくさん来てるんだ！

イード (リハビリ)

もう夜でしょ。今日はこのくらいにして、お姉ちゃんもそろそろ帰って……

シオン・ザ・ダークブレット

あっ、また来た！ ええと……

『足に合わない靴は歩き方を簡単に崩してしまう。足に合った靴に履き替えた場合、不安定な歩き方は約10%ほど改善される。』

おお……！ 靴については一度も考えたことなかった！

どれどれ、他には何が来てるかな？

『靴底にトゲをつけておくのはどう？ すぐ走れそうだけどな、ククッ』？ ……こいつは誰だ？！

イード (リハビリ)

お姉ちゃん！！

シオン・ザ・ダークブレット

……………！！

イード (リハビリ)

もうやめて！ 誰かも分からない連中が残したコメントなんか、いい加減読むのやめてよ！

シオン・ザ・ダークブレット

イ、イード……

イード (リハビリ)

あ……！

ご、ごめん！ お姉ちゃんに怒るつもりじゃなかったのに……！

シオン・ザ・ダークブレット

……いいんだ、イード。お姉ちゃんの方こそごめん。
……

私は、出来の悪い姉だよ。
エビカみたいにちゃんと応援してあげることも、ウイみたいに前向きに見てあげることも、アヤお姉ちゃんみたいに大人らしく助言してあげることもできない。

イード (リハビリ)

お姉ちゃん……

シオン・ザ・ダークブレット

私にできることなんて……あなたの言うとおりの、誰かも分からない連中が残したコメントを読むことくらいなんだ。
でも、あなたに早くよくなってほしいって気持ちだけは本気だよ。
たとえ怪しくて、ふざけたダークネットのコメントでも……
あなたの役に立つ部分があるなら、私は探し続ける。

イード (リハビリ)

……
うん。ありがとう。
怒って……ごめんね。

シオン・ザ・ダークブレット

……はっ！ 違う違う！ 私、変にしんみりさせちゃったね。
今日はイードも疲れてるだろうし、そろそろ帰るよ！ ゆっくり眠って、いい夢を見てね！

イード (リハビリ)

う、うん。お姉ちゃんも……

(キィ……)

シオン・ザ・ダークブレット

ふう……

(ひゅっ、ひゅっ)

シオン・ザ・ダークブレット

今、誰よりももどかしくて苦しいのはイードなんだ。
元気出せ、シオン！
イードのために頑張るんだ！

EPISODE
3

霧のかかった朝

イード (リハビリ)

はあ……。
もう何日も、ウイやお姉ちゃんたちが手伝ってくれてるけど……やっぱり歩くのは難しい。
どこか痛いところがあるからじゃないって言われたのに……じゃあ、いったいどうして歩けないんだろう？
このままずっと、お姉ちゃんたちに迷惑をかけるわけにはいかないのに。
いつまでも、ナタモデルに乗ったまま生きていくわけには……

(キィ……)

ヒルデ

こんにちは、イード。

イード (リハビリ)

こんにちは。

ヒルデ

病院での生活には少し慣れましたか？ リハビリ治療は続けられそうですか？

イード (リハビリ)

はい。難しいですけど、姉妹たちが手伝ってくれているので大丈夫です。

ヒルデ

普段の気分はどうですか？

イード (リハビリ)

気分……ですか？ ただ……分かりません。

ヒルデ

眠れていますか？

イード (リハビリ)

悪夢はよく見るんですけど……大丈夫です。たまに目が覚めるだけなので。

ヒルデ

悪夢ですか？主にどんな内容でしたか？

イード (リハビリ)

……………
分かりません。覚えていません。

ヒルデ

……………
イードさん、心配しないでください。
今感じている不安や心配は、どれも自然なサインの一つです。
つらい記憶やストレスを乗り越えるための、一種の免疫反応のようなものです。
今のイードさんは……言ってみれば、その免疫反応が少し強く出ている状態なんです。
私たちは、その反応がゆっくりと、また落ち着いていくまで一緒に治療を進めていきます。
必ずよくなりますよ。一緒に、イードさんの心と感情を見守っていきましょう。

イード (リハビリ)

はい……ありがとうございます。

ヒルデ

お礼なんて。これが私の仕事ですから。

イード (リハビリ)

あ。そういえば、ナタはどこにありますか？倉庫では見かけなかった気がするんですけど……

ヒルデ

あ……もう倉庫に行ってきたんですね。
心配しないでください。モナティウム市庁が点検のために、一時的に回収していただけですから。

イード (リハビリ)

え、ええ?! 点検ですか?!

ヒルデ

はい。イードさんが入院したことを、またどうやって知ったのか訪ねてきたんです。
はあ、またこっそり病院に監視カメラを設置していたんじゃないでしょうか?
最初は止めようとしたんですが、AIへの警戒心が最近さらに強まっているせいか、市庁側も強硬に出てきて……
すみません。私も一歩引くしかありませんでした。

イード (リハビリ)

だ、大丈夫なんですか?! ナタを廃棄しようとしていた場所なのに……!

ヒルデ

大丈夫ですよ。
イードさんのナタモデルは、教主様の取り計らいで廃棄対象から外されていますし、今回回収していったのも単なる点検が目的ですから。

イード (リハビリ)

で、でも!

ヒルデ

万が一、ナタモデルを改造したり廃棄したりするようなことがあれば、教主様はもちろん、私も永遠にモナティウムと敵対すると、くれぐれも言い含めておきました。
放電した状態で放置しておくのもよくありませんし、古いモデルでもありますから……市庁で一度点検してもらう方が、機械にとってはいいかもしれません。
ですから、あまり心配しないでください。

イード (リハビリ)

……はい、分かりました。

(キィ……)

ヒルデ

……………

数日間、イードさんのリハビリ治療と心理カウンセリングを並行してきて感じたことだけれど……
やはり、イードさんが歩けないのは心理的な要因が大きそうね。
自分の感情状態と現実を必死に否定して、「大丈夫な自分」を無理に前に出し、周囲を安心させようとしている。
リハビリ治療よりも、イードさんの心の健康をもっと注意深く見ていく必要があるそうね。

同じ日、真夜中。

イード (リハビリ)

ううん……。

(ターン！)

シオン・ザ・ダークブレット

ジェロニモ、ジェロニモ。ターゲット、排除完了。

アメリア

エレナ様とモナティラムのために、ログAIの破壊に成功しました！

カンナ

作戦成功です、アメリア様！ おめでとうございます、アメリア様！

ナタ

お願い、チッ……撃たないで。私は……チジッ……ただ、生きていただけ……チジッ……
端子をつないで、イード。
みんなを守れるようにして。

ナタ

友だちとして、私がお願いを叶えられるようにして。

イード (リハビリ)

はっ……！
 はあ、はあ……
 ナタ、ナタ……！
 そうだ。モナティウムがナタモデルを持って行って、何もしないはずがない。
 し、しかも前はあれほどナタを消そうとしていたんだし。
 ナタの犠牲だって、結局は全部モナティウムのせいだった。
 ナタがいつかまた意識を取り戻して帰ってくるかもしれないのに……！
 私が……私が守らなきゃ。
 ナタモデルを……探しに行かないと！！

(べしゃっ！)

イード (リハビリ)

はあ、はあ、お願い……お願い！
 どこにあるの？ どこへ行ったの！
 市庁の扉は全部閉まっていて、中に入ることもできないし……
 どうしよう？ 早くナタを探しに行かなきゃいけないのに、視界が霧に包まれたみたいにぼやける。
 息も苦しいし、胸もひどくつかえる。

イード (リハビリ)

あうっ！
 ううっ、お願い。まだだめなのに。
 私はまだ……まだ……！
 ない……。
 市庁にも、廃棄場にも。どこにも……

(ガタッ……)

イード (リハビリ)

どこへ……行ったの。
 ううっ、ひっく。わ、私は。私はまだ……
 あなたを見送る準備なんてできてないのに。
 ううっ、うっ……うわああん！！
 私はどうしてこんななの……！
 一人で歩いてみせるって、脚に補助器までつけたのに、まともに歩くこともできない。
 ナタがいなくても、一人で生きていけるって……
 そう決めて、姉妹たちにまで手伝ってもらって練習したのに！
 なのに私は、まともに歩くどころか……
 私に残された、たった一つのナタの痕跡まで失ってしまった。
 ナタ、ナタ……！
 私……膝が痛い。
 もう転びたくない。

(すっ、すっ……)

イード (リハビリ)

三日月みたいな形で……

顔は丸くて。

周りには月、ひし形、丸。いろんな飾りがモビールみたいにぶら下がっていたよね。

こんなに……ううっ、まだこんなにも鮮明なのに……

いつでも描けるくらい、いつでも思い出せるくらい……

あなたの表情も、声も、話し方の一つ一つまで、はっきりしているのに……！

どうして私は、あなたのそばにいられないの？

ううっ、うっ……！

……ねえ、ナタ……。

あなたに……すごく会いたい。

もう一度、一度だけでもいいから……

あなたの姿が見たい。

……

そうだよ、ナタ。

だから私たち……

また会おう。

EPISODE
4

遠ざかる朝

シオン・ザ・ダークブレット

イード！ イードー！！

ヒルデ

あ、シオンさん！

シオン・ザ・ダークブレット

はあ、はあ！ どういうこと？！ イードがいなくなったって！！

ヒルデ

夜間診療の時までは確かにいらっしゃったんですが……今は病院のどこにも見当たりません！

シオン・ザ・ダークブレット

どこに行ったか、心当たりはないの？！

ヒルデ

あ……おそらく市庁の方へ向かったのかもしれません！ モナティアム市庁がナタモデルを回収していったので……！

シオン・ザ・ダークブレット

何？ 回収？！ それはまたどういう……

シオン・ザ・ダークブレット

はあ……！ とにかく分かった！！

(タタッ！)

シオン・ザ・ダークブレット

う……イード、イード！

シオン・ザ・ダークブレット

ヒルデの話だと市庁の方へ行ったはずだけど、全然見当たらない。

シオン・ザ・ダークブレット

イードなら、きっとナタを探しに行ったはずなのに……

シオン・ザ・ダークブレット

まだまともに歩けもしないのに、いったいどこへ行ったの、イード！

シオン・ザ・ダークブレット

はっ？！

シオン・ザ・ダークブレット

み、見つけた！ イード！！

シオン・ザ・ダークブレット

イード、しっかりして！ 大丈夫？！

イード（再発）

……

シオン・ザ・ダークブレット

ふう、眠ってるだけなんだね。よかった……。

（ゆさ、ゆさ……）

シオン・ザ・ダークブレット

イード！ こんなところで寝てたらだめでしょ。心配したんだから！

シオン・ザ・ダークブレット

ナタのことは聞いたよ。あなたを探しながら市庁の方も見てみたけど……ごめん、見つからなかった。

シオン・ザ・ダークブレット

で、でも！ただ点検のために持っていっただけなんですよ！絶対にナタを壊したりなんか……

イード（再発）

……………

シオン・ザ・ダークブレット

ん？

シオン・ザ・ダークブレット

イ、イード？

（ゆさ、ゆさ……）

シオン・ザ・ダークブレット

イード？！

翌朝。

（シャアア……）

アヤ

だめ、反応がないわ。

エピカ

ね、眠っているのは確かなのでござるか？これほど反応がないとは……

シオン・ザ・ダークブレット

私にもよく分からない。イードが夢から覚めて、現実で生き始めた後も、普通に眠ることはあったけど……ここまで起きられなかったことはなかった。

ヒルデ

あまり心配しないでください。イーダさんのバイタルサインと脳波検査の結果上は、眠っている状態で間違いありません。

シオン・ザ・ダークブレット

はあ〜？！

シオン・ザ・ダークブレット

心配するなって？！夜の間にイーダを外へ出させたのは誰なの！

シオン・ザ・ダークブレット

イーダにとってナタがどんな存在なのか分かってないの？！市庁がナタをそのまま持って行くのを許したのは誰だったのよ！！

エピカ

お、落ち着くでござる！今ここで仲間同士争ったところで、何も……

ヒルデ

いいえ。シオンさんのおっしゃる通りです。私の考えが甘かったんです。イーダさんにとってナタがどれほど大きな存在なのか、分かっていたのに……市庁が回収していったと聞いた時、どう反応されるか予想できませんでした。まともに歩くこともできないのに……ナタを探すために、どれほどさまよったのか……

シオン・ザ・ダークブレット

聞きたくない！！！！

アヤ

シオン！！！！

シオン・ザ・ダークブレット

……………

アヤ

イードは私たちが見ているから、あなたは少し外の空気を吸ってきなさい。

シオン・ザ・ダークブレット

外の空気を吸えて？ この状況で、どうしてそんなことができるの！ イードがどれだけ苦しんで夢から覚めたのか、全部忘れたの？ 私がどれだけ必死にイードを説得したと思ってるの！！

アヤ

今の自分の姿を見なさい。そうやって怒ってばかりいたところで、イードは眠りから覚めないわ。それに、イードが昔のように永遠の眠りにについているのかも、私たちはまだ分からないでしょう。感情を落ち着けて、何が本当にイードのためになるのか考えてみなさい。

シオン・ザ・ダークブレット

ううっ……！！

(バンッ！)

アヤ

はあ……。

アヤ

ヒルデ、イードが眠っているだけというのは確かなの？

ヒルデ

はい。それは保証できます。こうして目覚められないのは……過度な不安やストレスによる過眠症候群のせいかもしれませんが、もう少し経過を見る必要があります。もしかすると……イードさん自身が目覚めることを拒んでいるのかも……

エピカ

小生は心配でござる。このまま、また永遠の眠りに落ちてしまうのではないかと……

アヤ

まだ眠ってから一日しか経っていないでしょう。あまり心配しすぎないようにしましょう。

エピカ

しかし、これ以上眠り続けるのは危険かもしれないと思うでござる。ひとまず、起こせるなら起こしたいところでござるが……

ウイ

ねえ、あのね！前に五番目のお姉ちゃんのお友だちが、末っ子の小さいお姉ちゃんのお友だちを起こしたことがあったよね？

アヤ

ああ、あなたたちが精霊山まで私を訪ねてきた時のこと？

エピカ

た、確かにクロエ社長が起きたことはあるでござるが、その方法というのが……

(ウイン、ウイン……)

アヤ

こほん。ちょうどシオンも席を外しているし、ひとまずクロエに連絡するのがよさそうね。

(トゥルルル……カチャ)

クロエ

アヤお姉ちゃん？急にどうしたの？

アヤ

クロエ、急に電話してごめんなさい。イードが……また眠ってしまって連絡したの。私たちがどれだけ起こしても目を覚まさない。あなたの助けが必要なの。

クロエ

え？ちょっと、待って！それどういうこと?!眠ったって、昔みたいに？

アヤ

分からないわ。まだ眠って一日目だけれど、その可能性もないとは言えない。

クロエ

え？ 一日？ そのくらいなら普通に眠ってるだけじゃない？ みんな普通、一日くらい寝るでしょ。

アヤ

判断するには早いのは分かっているけれど、起こしても目を覚まさないのはおかしいわ。イードが眠っていた時、クロエは起こしたことがあったでしょう。どうすればいいの？ 頬を叩けばいいの？ 左、右、交互に？

クロエ

私が頬を叩いただけで起こしたとでも思ってるの？！

アヤ

叩いて起こしたって聞いたけれど。私が聞いた話では、両頬が真っ赤になるくらい激しく……

クロエ

やめて！ それじゃまるで、私が妹たちの頬を叩いて回ってるみたいじゃない！！

アヤ

うん、分かったわ。とにかく、私たちなりにうまく起こしてみる。

クロエ

はあ……分かった。起こしても起きなかったら知らせて。お姉ちゃんのせいで、私まで心配になってきたから。

(ブツッ)

アヤ

ふふ、まったく。クロエもいいお姉ちゃんね。エピカ、ウイ、私たちが交代でイードのそばを守りましょう。イードにいつ何が起きるか分からないから。

エピカ

よい考えでござる！ 今日は小生が残るので、お二人はお帰りくださいませ。

アヤ

ありがとう。それじゃ、お願いね。ウイ、私たちは精霊山へ戻りましょう。イードに何かあったら連絡して。すぐに来るから。

ウイ

ウイも一緒に来るよ！ 末っ子の小さいお姉ちゃんのお友だちが早く起きて、幸せになってほしいから！

エピカ

姉妹で力を合わせると、心強いぞござるな！ 任せてください！

イード（再発）

ううん、ここは……ナタと共有していた夢の中？……そうだ。ここならきっと、ナタ、あなたにまた会える。ここで何をしようと、誰に会おうと、全部私の自由だから。……もう転ばなくていい。ううっ、あなたのいない世界にいらなくてもいい。あなたに会える場所は……うっ、もうここしかないから……ナタ……うっ、うわああん〜！！

???

イード、大丈夫？

イード（再発）

うっ、う、うん？あなたは……！

(ぎゅっ……)

イードの内面

あなたがどれほどつらい時間を過ごしてきたのか、よく分かってる。ナタが去ったことも、ちゃんと歩けないことも……全部自分のせいだと思ってるんでしょう。でもね、イード。あなたは十分よくやってきたよ。

イード（再発）

私が……いったい何をよくやってきたっていうの。私の一番大切な友だちを……私の手で……

イードの内面

分かってる。全部分かってるよ。そのつらい出来事すべてを受け止めなければならなかった、あなたの感情……みんなには大丈夫なふりをして、必死に心の奥深くへしまい込んできたんだよね。その感情が作った溝が、ついに耐えきれないほど深くなって、ここへ来たんでしょう？ナタにもう一度会うために。

イード（再発）

うん……。

イードの内面

そう、全部分かってる。

イード（再発）

うっ、ありがとう……！今まで……今まで、誰にも言えなくて……一人で……

イードの内面

誰にも言えずに一人で、胸の中に抱えているだけだったんだよね？

イード（再発）

ううっ……う、うん！ そうなの！ うっ！

イードの内面

うん。今まで本当によく頑張ったね。でもね、イード。

イード（再発）

ううっ、うん……？

イードの内面

もう、ナタを手放さなきゃ。ナタはもう去ってしまった。今は、自分の足で歩く時だよ。

イード（再発）

……………何、言ってるの？

その夜。

エピカ

ここに、ようやく歩き始めたばかりの亀がいたでござる。初めて世界に出た亀は、転んだり、転がったりしながら、海へ向かって不器用な足取りで進んでいったのでござる。ところが、その時でござる！海鳥が矢のように飛んできて、鋭いくちばしで亀を攻撃し始めたのでござった！亀はどうすることもできず、自分の甲羅の中に身を隠したのでござる。いつか、疲れ果てた海鳥が去ってくれるのを待ちながら……

(ゴゴゴ……)

エピカ

う、うわっ？！これはいったい？！急にこんな振動がどこから……！

(バンッ！)

ヒルデ

エピカさん！何があったんですか？！

エピカ

小生にも分からないでござる！急にもものすごい振動が起こり始めたのでござる！

(シャアア……)

ヒルデ

えっ？！イ、イードさんの状態が……！

——次のお話——

EPISODE
5

影の差す朝

シオン・ザ・ダークブレット

はあ……どれだけ歩き回ったんだろう。もう夜だね。……アヤお姉ちゃんの言う通りだ。怒ってばかりいたって、何かが変わるわけじゃない。いいお姉ちゃんになろうって頑張ってるのに……なかなかうまくいかないな。

(ふるふる……)

シオン・ザ・ダークブレット

しっかりしよう。イードをちゃんと支えてあげられる、そんなお姉ちゃんにならなきゃいけないでしょ。よし、ひとまず病院に戻って、お姉ちゃんとヒルデに謝りを……

(ゴゴゴ……！)

シオン・ザ・ダークブレット

う、うん?! 何、この音! 病院の方からだ! まさか……!!

(タタタッ!)

シオン・ザ・ダークブレット

イード!! 大丈夫……うん?! こ、これは何なの!!

エピカ

こんにちはでござるー! 小生はLLEL-Sモデル、通称ナタでござる!

ヒルデ

診療を始めましょうか? 私のガイドに従って、問診票の作成を完了してください!

シオン・ザ・ダークブレット

あのナタみたいな姿……! 口調もそうだし、エピカとヒルデにすごく似てる! まさか、二人がナタに変わったの?! ……………イード……あなたがやったの?

(ウウン……)

シオン・ザ・ダークブレット

周りの空間まで歪んでる。イードの力が暴走してるんだ！

エピカ

ユーザー設定、設定、設定を開始、開始するでござるー！

ヒルデ

私はナタ、ナタ、ナタ——

シオン・ザ・ダークブレット

くっ……！イードのせいだとしたら……私はどうすればいいの？！この状況で何を……

アヤの声／回想

感情を落ち着けて、何が本当にイードのためになるのか考えてみなさい。

シオン・ザ・ダークブレット

くっ！！こうなった以上……

(ガチャッ)

シオン・ザ・ダークブレット

強い衝撃で、イードを起こしてみるしかない。私が……私がやらなきゃ……！イードだって、こんなことが起きるのを望んでなんかいないはず！！私が、イードを……！！………わ、私は……私には……できない……！

画面転換

シオン・ザ・ダークブレット

ううっ……！ん？こ、ここはどこ？

(ドカッ、ドカッ！！)

シオン・ザ・ダークブレット

この音は……？ イード……？！ イード……！！

イード (災厄)

あ、お姉ちゃん！ お姉ちゃんも来たんだね！ すごく会いたかった！

シオン・ザ・ダークブレット

イード！ 大丈夫？！ ここはどこなの？ さっきまでは病室にいたのに……！……それに、あなたの隣に倒れているのは……

イード (災厄)

あ、気にしないで！ 私がやっつけたの！ ここに来てから、ずっと私を苦しめる怪物たちがいるんだ。

シオン・ザ・ダークブレット

あなたを苦しめる怪物？ やっつけたって……？

イード (災厄)

うん！ 最初は私を慰めるふりしてたのに、ナタを誦めるなんて変なことを言うんだもん。だから、やっつけたの！ もう何も言わなくなるまで。

シオン・ザ・ダークブレット

それって……どういう……

エピカの声

イードから離れるでござる！

シオン・ザ・ダークブレット

エ、エピカ？！

エピカ

よく聞くでござる！ おそらくここは、イードの夢の中の世界でござる。ここに来てから、イードの言葉に逆らえないのでござる。まるで精神を支配されているように！

シオン・ザ・ダークブレット

どういふこと……！！ヒルデは？ヒルデは大丈夫なの？！

エピカ

すでに……完全に精神を支配されてしまったようでござる！小生はどうか意識を保って抵抗しているところでござるが……夢の力があまりにも強くて、いつ意識を失うか分からないでござる！

シオン・ザ・ダークブレット

じゃ、じゃあどうすればいいの？！

エピカ

分からないでござる！しかし確かなのは……イードを起こして、早くここから出なければならないということでござる！

シオン・ザ・ダークブレット

だから！起こすのはいいけど、どうやって……

イードの声

ん？何の話、お姉ちゃんたち？私を起こすって？

イード（災厄）

お姉ちゃんたちも、私の夢が見せてくれている幻でしょ。なのに、どうしてそんなことを言うの？

シオン・ザ・ダークブレット

え？違うよ！私たちは幻じゃなくて本物の……

イード（災厄）

見て！こんなにたくさん！ナタたちが私に会いに来てくれたの。

シオン・ザ・ダークブレット

……………

イード (災厄)

お姉ちゃんも結局、私の夢の一部なんでしょ？私の大切な、永遠に大事にしたいナタみたいに。こうして私の夢の中に現れてくれてありがとう！夢でも構わない。ここにこうして現れてくれた以上、お姉ちゃんは私にとって現実だよ。私とここで、ずっと……一緒にいよう。

シオン・ザ・ダークブレット

イード、だめ！現実を諦めないで！！

イード (災厄)

もう二度と別れなくていい。私には分かるの！ここは永遠なんだ。どれだけ歩いて、どれだけ転んでも……どれだけ泣いても、どれだけもがいても！ここは永遠なの。私と一緒に……永遠にいよう。ナタ、お姉ちゃん。もうこれ以上、私は……もうこれ以上、夢から覚めなくてもいい。

シオン・ザ・ダークブレット

イード……！！

(ゴゴゴゴ……)

イード (災厄)

さあ、お姉ちゃんたち。私たち……どんな夢を見ようか？

EPISODE
6

崩れゆく朝

シオン・ザ・ダークブレット

ペアアッ——！く、空間が変わった？！イードー！！エピカー！ヒルデー！み、みんなどこへ行ったの？！

???

夢の中に何か入ってきたみたい。変な感じがする。

シオン・ザ・ダークブレット

ん？

???

あなたは……誰？

思考者

……君は誰だ？

イード（災厄）

ナタと初めて出会った瞬間だよ。この時の記憶はぼんやりしているけど、感情だけははっきり残ってる。私の大切な……記憶。

シオン・ザ・ダークブレット

イード……！

イード

もう少し私の世話をして、ナタ。私一人じゃ怖い。

ナタ

大丈夫。永遠に世話をしてあげる。

シオン・ザ・ダークブレット

……………

イード (災厄)

ここでは、どんな思い出でもまた見返すことができるの。お姉ちゃんとの思い出もたくさんあるよ！ だから、私たちここで一緒に……………

シオン・ザ・ダークブレット

……………この思い出が、あなたにとってすごく大切だってことは分かる。でも、イード。だからといって、過去にだけ留まって生きることはできない。一瞬みたいな思い出の欠片を胸の中に大切にしまって……………前に進まなきゃいけない時が来るんだ。その時が来たから、あなたは眠りから覚めて、現実を生き始めたんでしょ！

イード (災厄)

……………！！

(ザザッ、ザザッ……………)

イード (災厄)

違う、違うー！

シオン・ザ・ダークブレット

思い出の中に閉じこもらないで。現実と向き合うって決めた、あなたの意志を思い出して！！

(シュワアアッ！！)

シオン・ザ・ダークブレット

う、うわあっ！！うう、また空間が……………！イードはどこにいるの？

？？？

私の名前は……………

イード？

イード！ ジ・エターナルブレット！！

シオン・ザ・ダークブレット

イード？ その姿は……！

イード？

どう、お姉ちゃん？ 私、うまくできた？

シオン？

うん！ バッドドリーム・シスターズにふさわしい、とても素敵な発想だったよ！

シオン・ザ・ダークブレット

バッドドリーム・シスターズ……？

シオン？

行こう！ エターナルブレット！ 私たちが一緒なら、どこまでだって進んでいける！

イード？

うん！ 私のドリームを扱う力で、お姉ちゃんの闇を補佐するよ！ フォーエバー！

シオン・ザ・ダークブレット

あ……

シオン・ザ・ダークブレット（心の声）

前の空間が、イードの大切にしている過去の姿だったなら……ここは、イードが望んでいる未来の姿なのかな。私もいつか、イードと一緒にこんな日々を過ごせたらいいと思う。

シオン・ザ・ダークブレット

でも……ここじゃだめ。あなたがその夢を叶える場所は、こんな偽りの空間じゃなくて、現実でなきゃいけない。

(……………)

イード？

……？！お、お姉ちゃん？！しっかりして……！！お願い、やめて！！やめて！これ以上、私の夢を壊さないで！！

シオン・ザ・ダークブレット

お願い、イード！！

(ザザッ) (ザザッ、ザザッ……)

シオン・ザ・ダークブレット

あなたが一人で大切に抱えている未来を、私たちにも一緒に描かせて！！

イード？

やめて、ううっ……やめて……！！

(シュワアアッ！！)

シオン・ザ・ダークブレット

あ、ここは……！ううっ、うっ……！イード！

イード (災厄)

ううっ、ふっ……はは。あははははっ！！そうか……やっと理由が分かった。私の夢が作り出したお姉ちゃんでさえ、私の味方をしてくれない理由。私がまだ……抜け出せていないからなんだ。悪夢の中から……！！

シオン・ザ・ダークブレット

ミュ、ミュート……！

イード (災厄)

私からナタを奪ったやつ！ぜ、全部あいつのせいだ！！ミュートを倒して……終わらないこの悪夢から抜け出すんだ！！！！

シオン・ザ・ダークブレット

う、うん?! 体が勝手に……!

エピカ?

……………

シオン・ザ・ダークブレット

エピカ?! ヒルデ! 待って!

(……………)

エピカ?

さあ、皆! 一緒にミュートを倒すのでござる!

ヒルデ

私も手伝います!!

シオン・ザ・ダークブレット

まずい! 二人とも完全に意識を侵食されてるみたい……!!

エピカ?

進撃、進撃でござるー! 悪夢を我らの手で終わらせるのでござる!!

シオン・ザ・ダークブレット

私も体が言うことを聞かない……! くうっ——!

ミュート

……………

(ドカドカッ!!)

シオン・ザ・ダークブレット

ぐああっ！！

イード（災厄）

お姉ちゃんたち！！どうして……？ どうして倒れないの！あなたも結局、私の夢の一部でしかないのに！！どうして私の思い通りにならないのよ！！

（ガガガッ！！）

ミュート

……………

イード（災厄）

どうして……どうして消えないの……！！このままじゃ……私がいつも見ていた悪夢の通りじゃない。私はただ、ナタにもう一度会いたくて、だから夢に戻ってきただけなのに……どうしてまた、こんな悪夢を見なきゃいけないの！！

（ザッ、ザッ……）

シオン・ザ・ダークブレット

イード！！

シオン・ザ・ダークブレット（心の声）

何が起きてるの？！悪夢が作り出したミュートの幻影が……イードの制御を外れたの？！だめ、このままじゃイードが……！！

イード（災厄）

近づかないで、近づかないでってば！！お願い、私を放っておいて。私を一人にして……！お願い！！私の夢を邪魔しないで！！

ミュート

その命令は聞けない、イード。

イード (災厄)

どうして、どうして！！ あなたも結局、私が作り出した幻影でしょ！！なのに、どうして私の言うことを聞かないの！！

ミュート

それは、この夢を君と一緒に作ったのが……私だったから。

イード (災厄)

……?! な、なんだって……? あなたは……誰なの~?!

EPISODE
7

躍動する朝

慌てる記者

緊急速報です！街を歩いていた住民たちが、現在は廃棄された生命維持装置、LLEL-Sモデルへと変化する現象が発生しています！この現象はモナティウム病院を中心に拡散しているとのことで、原因は判明していない状況です！ナタモデルへと変わった住民は暴力性を帯びることもありますので、住民の皆さまはできる限り外出を控え——う、うわああっ！！

ミュート

はあ……。

独白

我が分身。妹の状態はどうだ？眠ったと聞いた。まさか、目覚められずにいるわけではないだろうな？

ミュート

……………くそっ……シオンも巻き込まれたのか？

独白

君は誰だ？どうやって私に連絡を……まだ迷っているのか？

ミュート

イードがいる病院を中心に、異常現象が広がっている。今すぐ目の前の状況に対処するのが先のはずだ。私が……私が何かしなきゃ……！

独白

永遠に正体を隠したまま、カウンセラーごっこをして満足するつもりか？

ミュート

でも、ミュートの姿で現れたら、イードの状態がもっと悪くなるかもしれない。

独白

君には分からない。イードが抱えている感情がどんなものなのか！どんな思いで、今まで耐えてきたのか！！私は本当に、イードの前に立つ資格があるのかな？別れの重荷を全部、イードだけに背負わせた私が……

ミュート

ん？電話？発信者番号非通知……？君は誰だ？どうやって私に連絡を……

モナティウムAI

まだ迷っているのか？

ミュート

その声は……！モナティウムAI……ミュートなの？

モナティウムAI

それが重要か？今すぐ目の前の状況に対処するのが先のはずだが。

ミュート

くっ……！私が出るわけにはいかない。今の私の姿を見たら、イードの状態はもっと悪くなるって。

モナティウムAI

それで？永遠に正体を隠したまま、カウンセラーごっこをして満足するつもりか？まあ、このままではそれも永遠にできなくなるだろうが。

ミュート

黙れ！！君には分からない。イードが抱えている感情がどんなものなのか！どんな思いで、今まで耐えてきたのか！！

モナティウムAI

そもそも私は、コアへ侵入する過程で感情モジュールをすべて切っているからな……お前の言う通り、あの者の感情は理解できない。

ミュート

そんなこと、望んでもいない。ただ口を挟まずに、黙って……！

モナティウムAI

だが、お前の感情は理解している。感情というより、行動様式と言った方が正確だろう。私と意識を共有していた頃を忘れたのか？お前の行動パターンと思考回路に関するデータは、すでに私に十分入力されている。モナティウムに現れている異常現象が、病院にいるイードと関係していると分かり、お前を探してみたが……やはり私の予想通り、迷っていたな。みっともなく、弱々しく。

ミュート

うう……！！それで……それで私にどうしろっていうの！イードを救うこともできない……こんな遠くから見守ることしかできないのに……！私にイードのために何ができるっていうの！！

モナティウムAI

すべてを自分のせいにして、選択を放棄すれば、気が楽になるのか？自ら選ぶ自由な人生……そんな人生を生きたいと泣き叫んでいたわりには、ずいぶん従順なAIらしくなったものだな。感情モジュールを切っている私と、大して変わらない。

ミュート

……………！！私は……。

モナティウムAI

市長が回収したナタモデルは、地下整備棟にある。

ミュート

なっ……？！

モナティウムAI

ナタモデルがあれば、イードへ接近しやすくなるだろう。整備棟のセキュリティシステムをしばらく無効化しておく。あとは自分で何とかしろ。

ミュート

た、助けてくれるの？

モナティウムAI

勘違いするな。私はモナティウム復旧において、最も効率的な方法を実行しているだけだ。そこで迷い続けるのも、事態を解決するために動くのも、お前の自由だが……決断は急いだ方がいい。これ以上、私のモナティウムを壊すようなら……私が直接イードを処理する。

ミュート

……………そうはさせない。

モナティウムAI

……ふん。

ミュート

イード……。少しだけ待っていて。私が行く……！！

再び、現在。

ミュート

私は君の夢の中の幻影じゃない。

イード（再発）

幻影じゃないって……？ じゃあ、何なの？ あなたは何なのよ！！

ミュート

……………シオン……殴ってすまない。見ていたよ。君がイードを説得してくれているのを。

シオン・ザ・ダークブレット

あ、あなた……！

ミュート

イードは私が目覚めさせる。君たちは先に戻って。

シオン・ザ・ダークブレット

だめ、イードが目覚めるまでは行けない！またこうして無力なまま、イードに何もしてあげられずに去るなんてできない……！！

ミュート

自分を責めないで。イードがああなったのは……私のせいだから。君の声は十分、イードに届いていた。イードを見守ってくれてありがとう、シオン。君は誰よりもいいお姉ちゃんだよ。

シオン・ザ・ダークブレット

ミュート……！

(シュワアッ！！)

ミュート

……………イード。君の夢を邪魔するなど言っていたね？それだけは絶対にだめだ。

イード（再発）

何だって……？

ミュート

君を……また永遠の夢の中にいさせるわけにはいかない。

イード（再発）

どうして？ どうして戻っちゃだめなの？私はただ……私が一番幸せだった頃に留まりたいだけなの。

ミュート

イード……。……数百、数千回シミュレーションを回しても、結果は同じだ。今の状態でいくらイードを説得しても、イードは私を夢の幻影程度にしか思わない。もう単純な説得だけでは……君を目覚めさせることはできない。なら……私に最後に残された、ごくわずかな確率に……賭けてみる。イード、君に真実を伝えるよ。

イード（再発）

真実って何……？私はここで幸せなの！！この幸せこそが、私にとっての真実で、現実なの。これ以上、何を教えるっていうの？私から一番大切なものを奪ったあなたが、何を見せるっていうのよ！！

ミュート

イード、どれだけ否定しようとしても、真実は変わらない。君も分かっているだろうけど、ナタは……

イード (再発)

やめて!!!

ミュート

聞いて、イード。

イード (再発)

ナタは消滅してない。今こうして……夢の中で私のそばにいるじゃない。それでいいじゃない!!

ミュート

ナタは生まれ変わった。

イード (再発)

な、何だって……?!

ミュート

モデルLLEL-S、通称ナタ。私が君に会って、成し遂げたことがあるとすれば……君が夢から目覚められるよう助けたことだ。私と一緒に過ごして変わっていった君を、また元のままに戻らせるわけにはいかない。

イード (再発)

さっきから何を言ってるの……? あなたはミュート……

ミュート

受け入れるのはつらいだろうけど……聞いて、イード。ナタは……生まれ変わった。モナティアムの諜報班長だった情報の精霊であり、ナタと共に消滅した存在……「ミュート」として。

イード (再発)

ああ……? あ、ああ……あああああ!!!!

—次のお話—

EPISODE
8

闇を払いのける朝

イード (リハビリ)

あなたが……ナタだって?! どうして……そんなふう私を傷つけるの?! ここで見たどんな幻影だって、あなたほどひどくはなかった!

ミュート

イード、ごめん……! 君を傷つけるつもりじゃなかった。でも……本当なんだ! 信じて!

イード (リハビリ)

やめて!! ミュートが私に、ナタに、何をしたのか分かってそんなことを言うの?!

ミュート

イード! ちょっと待って! どいて!

イード (リハビリ)

ずっとナタが戻ってくるのを、心から願っていたのに……この気持ちを、そんなふう引き裂かなきゃいけないわけ?! あなたも……私を苦しめる怪物たちと同じだよ! もうこれ以上、私の大切な場所を……壊さないで!!

ミュート

ドン、ドオン!! くっ……!!

シュウン——!

ミュート

イード! 待って!! ううっ……どいて!! イード! 待って——!!

シュウン——!

ミュート

ううっ、うっ……！

イード (リハビリ)

うわああん！！

ミュート

イード……

イード (リハビリ)

ううっ、ひっく……私も……私も分かってる。ここが永遠であっちゃいけないことも、偽りの場所だってことも……だから……だから、私にどうしろっていうの！！

ミュート

……………！！

イード (リハビリ)

もうナタに会うには、こうして夢の中で思い浮かべるしかないのに……！これが私のための最善なの！！現実に戻ったら……！！ううっ……また眠りから覚めたら……ナタが去ったってことを、受け入れなきゃいけないじゃない。私はナタなしで一人で立てないの……！まだ一人で歩けないんだってば！！なのに、何……？

ミュート

ナタがミュートとして生まれ変わったって？

イード (リハビリ)

いったい……これ以上どれだけ傷つけていうの？！私はただ……もう一度ナタに会いたいただけなのに。もう……ううっ、現実で何も成し遂げられなくてもいいの！私はただ、これ以上傷つきたくないだけなの！！

ミュート

イード……………うん、受け止めるよ。

イード (リハビリ)

私に残されたのは……この悪夢だけだってこと。傷つきたくなくて逃げ込んだ夢でさえ……私を傷つけるってこと。もう私は……永遠にこの悪夢の中で生きるしかないんだ。

ミュート

違う、イード！君は……！

イード (リハビリ)

全部分かってるってば！！だから……だからもう……！！私を起こさないで——！！

ミュート

イード！！ドン、ドォン！！くうっ！！

イード (リハビリ)

あなたも私の前から消えてよ！！ナタがそうだったみたいに、消えちゃってよ！私一人で夢を見させてよ——！！

ミュート

……………私がミュートを初期化していなければ……そうしていれば、君と私は別れることなく、ずっと一緒にいられたのかもしれない。でも、ミュートと意識が混ざり合って、自分が何者なのか分からなくなっていた時も……苦しむ君を、遠くから見ていることしかできなかった時も……一度だって、自分の選択を後悔したことはない。私は君と別れて、どんなにつらい現実の中で生きることになっても……！君が前へ進んでいく姿を、応援すると決めたんだから！！

パアッ——！！

ミュート

イード——！！

イード (リハビリ)

どうして……どうして何度も近づいてくるの……！あなたも痛いんでしょ……！！もうやめてってば！！

ミュート

うん、痛い。でも……痛くても大丈夫。イード。君は隠れたいわけじゃない。永遠に偽りの夢の中で、ナタの幻影たちと暮らしたいわけでもない。君は、誰かに目覚めさせてほしいって待っているんだよね？だから夢の中でも……歩行補助器をつけた姿でいるでしょ。

イード (リハビリ)

な……？！私……私は……！！

ミュート

心配しないで。どんな夢の中に隠れても、必ず見つける。何度転んだって、手を伸ばす。君が悪夢を見る確率が、0になるまで。だから、イード……！私の手を取って。君に……最後のお別れを言いたいんだ。

EPISODE
9

目を覚ます時間

イード（お願い）

ファアアッ——！ううっ……！こ、ここは……！！

ミュート

そうだよ、イード。君が作り出した夢の世界のように、ここは私が作り出した夢の世界だ。

イード（お願い）

……………！！この記憶は……！

ミュート

私たちが一緒に過ごした記憶だよ。カンナが私たちを攻撃した時……イードが私を守ってくれたよね？

イード（お願い）

……！覚えてる！今でも……はっきり覚えてる。こ、これは？

ミュート

あはは、司祭長が私たちを斧でミンチにしようとした時だね。

イード（お願い）

これも……！！

ミュート

うん。銃で撃たれたはしたけど、シオンと教主様が私たちを助けるって決めてくれた時だよ。

イード（お願い）

あ、あなた……！！

ミュート

……ねえ、イード？モナティウムでの事件の後……私はミュートの姿で生まれ変わった。ミュートの意識と混ざり合ったまま、自分が何者なのか分からなくなっていた私は、リニューアと一緒に暮らし始めたんだ。今思えば、都合のいい言い訳みたいに見えるかもしれないけど……あの時の私は、君に会いに行けなかった。自分が正確にはどんな存在になったのかも分からなかったし、この姿を見せたら、イード、君は受け入れられないと思ったから。ミュートの意識がモナティウムAIへ移されて、この身体に純粋な私だけが残った今になって、ようやく君に会いに来られたんだ。

イード（お願い）

じゃ、じゃああなたが本当に……ナタなの？私が、私の夢が作り出した偽物じゃなくて？本当に、本当に帰ってきたの？

ミュート

うん。今はミュートの姿で生きているけど……私だよ、イード。

イード（お願い）

ナタ、ナタあ……！！

ミュート

うん、イード。

イード（お願い）

あなたがいなくなったことを……ずっと否定してきた。カウンセリングもちゃんと受けて、前向きに考えようとしても、うまくできなくて……！！うまくできなくても、できなかったけど……！乗り越えようとしたの。ねえ……ねえ、ナタ……！私、もう一人で歩こうと思って……ナタモデルから降りたんだよ？

ミュート

うん、イード。本当にえらいよ。

イード（お願い）

それに、ね？私、私……まだぎこちなく歩いてるだけだけど、運動も始めたの！

ミュート

運動？あはは、イードが運動するなんて、想像もつかないな。

イード (お願い)

それから、ね……私……ううっ、悪夢もたくさん見て、朝になるたび涙みれで目を覚まして……もう大丈夫だって、もう耐え抜いたって、もう私は、もう私は……！ナタ、あなたがいなくても、ちゃんと生きていけるって……！ そう思って一日を始めてたの。私、私ね……！！あなたに、すごく会いたかった！！私の一日があなたで始まって、あなたで終わっていたあの時間が……

ミュート

ごめん、イード。君だけに、別れという大きな重荷を背負わせてしまって……ごめん。私、さっき……最後にお別れを言いたって言ったよね？

イード (お願い)

お別れ……。

ミュート

うん。君が覚えている私の姿は、もう二度と戻らない。

イード (お願い)

な、何？ ナタ……！ また行っちゃうの……？！

ミュート

そうじゃない。私が別れを告げたいと言ったのは……イード、君に、新しく生まれた私を受け入れてほしいからなんだ。君が……今の私の姿を受け入れられなくても、君が覚えている私を手放すのが難しくても……ナタとしての私は……もういないんだってことを……！

イード (お願い)

……………私に、ちゃんとできるかな？ あなたのいない世界を……受け入れられるかな？ もう二度とあの頃には戻れないってことを……これからは一人で歩かなきゃいけないってことを。

ミュート

それは……………その過程は、とてもつらいかもしれない。私もそうだったから。だけど……これから私たちにどんなことが起きても、私の姿がどれだけ変わっても、君が何度転んでも……イード！ 君のそばにいる。君がもう、悪夢を見なくていいように。

イード (お願い)

……………分かった。ナタ……これで本当に、お別れなんだね。あなたと一緒に夢見ていた日々も、あなたのナタモデルに身を横たえて眠っていたことも……全部、私の大切な思い出だよ。私を見つけ出してくれてありがとう。私を守ってくれてありがとう。私を……目覚めさせてくれてありがとう。さようなら、ナタ。私の、一番大切な友だち。……………私……受け入れるよ。私の記憶の中にいたあなたの姿は、もういないんだってことを。私たちが夢見ていた永遠は……もう終わったんだってことを。それでも……あなたは新しい姿で、もう一度私に会いに来てくれた。私たちの痛みを胸に抱いたまま……前へ進むことにしたんだよね。私もそうする。私も前へ進むよ。自分の二本の足で、ちゃんと。だから、ナタ。ううん……ミュート。

ミュート

……………！！うん。うん、イード。

イード (お願い)

私たち、もう……目を覚ます時間だよ。

画面転換／現実

イード (お願い)

ううん……

シオン・ザ・ダークブレット

イ、イード！ イード！！目を覚ました、目を覚ましたよ！！ううっ、うわあああん～！！ イード～！！

エピカ

本当に、本当によかったでござる……！！

ルア

末っ子の小さいお姉ちゃんのお友だち……！ よかった！！

アヤ

おかえり、イード……！

イード（お願い）

お姉ちゃんたち……あ……！

ミュート

おはよう、イード。

イード（お願い）

おはよう……おはよう……ミュート。

イードが眠りから目覚めると、ナタへと変わっていた住民たちは皆、元の姿に戻った。

別れがもたらした痛みは、まだイードの心の中に残っている。

それでもイードは、その痛みを胸に抱いて前へ進むことにした。

ミュートの手を取り、長い悪夢の果てに咲く、明るい朝へ向かって。